

## 第 11 回環境分科委員会 議長総括

### 前文

1. 北東アジア地域自治体連合（NEAR）第 11 回環境分科委員会が、富山県及び北東アジア地域自治体連合が主催し、2013 年 10 月 31 日、富山市において開催された。会議は、来賓として西前晶子 環境省地球環境局国際連携課国際協力室長補佐及び、鐘暁東 国連環境計画北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）地域調整部（RCU）富山事務所所長を招き、北東アジア地域の 4 か国（日本、中国、韓国、ロシア）の 8 自治体に参加した。また、事務局として、NEAR 事務局及び（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）が参加した。

### 次期コーディネート自治体の選出

2. 次期コーディネート自治体として、富山県が選出された。（任期：2013 年 7 月 14 日～2015 年 7 月 13 日）

### 環境分科委員会の活動状況

3. 環境分科委員会報告書の作成など、2012 事業年度の NEAR 環境分科委員会の活動状況について、富山県から報告があった。

### 個別プロジェクトの成果報告(2008～2012 年)及び実施状況(2013 年)

4. 2008～2012 年における個別プロジェクトの成果及び 2013 年における実施状況について、次のとおり、提案自治体から報告があり、参加者は、「北東アジア環境パートナーシップフォーラムとやま宣言」(2007 年 12 月)に掲げられたプロジェクトが活発に実施され、大きな成果をあげていること、今後も同宣言の共通認識に配慮して活動を推進することを確認した。

- ①黄砂を対象とした広域的モニタリング体制の構築（富山県から報告）
- ②北東アジア地域環境体験プログラム（富山県、江原道から報告）
- ③日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県から報告）
- ④国際環境フォーラム「国境のない自然」（沿海地方から報告）

### NOWPAP の取組み紹介

5. NOWPAP-RCU 富山事務所から NEAR 環境分科委員会の成果を活用した NOWPAP の海洋ごみ対策などに関する取組紹介があり、参加者は、NOWPAP の活動内容や NEAR 環境分科委員会の活動との関連などを確認した。

### 2014 年個別プロジェクトの提案調査結果

6. 富山県は、2014 年個別プロジェクトの提案調査の結果、4 つの個別プロジェクトの提案があったことを報告した。

## 2014 年提案個別プロジェクトの説明

7. 2014 年に実施される次の個別プロジェクトについて、各提案自治体からの説明及びプロジェクトへの積極的な参加の呼びかけがなされた。

- ①北東アジア地域環境体験プログラム（富山県及び遼寧省）
- ②第 8 回国際環境フォーラム（沿海地方）
- ③海辺の漂着物調査と漂着物アート制作（富山県）
- ④北東アジア環境ポスター展（ハバロフスク地方）

8. 参加者は、個別プロジェクトを提案した遼寧省、沿海地方、ハバロフスク地方、富山県に敬意を表明し、積極的な参加を検討することとした。

## 2015 年以降のプロジェクト提案に向け検討している事業の紹介

9. 2015 年以降の個別プロジェクト提案に向けて検討している次の 2 つの事業について、富山県、NPEC から検討内容等の情報提供があった。

- ①海辺の生物調査（NPEC）
- ②富山県と韓国自治体の環境 N P O 等交流モデル事業（富山県）

10. 参加者は、今後、NEAR 環境分科委員会の活動を一層促進していくためには、NOWPAP、環境 NPO 等との連携、協力が重要であることを認識し、今後の新たなプロジェクト提案に向けて、情報提供のあった 2 つの事業やその他の新たな事業についても、検討を続けていくこととした。

## 環境分科委員会の活動計画

11. 富山県は、2013 及び 2014 年度の活動計画（案）を説明した。また、コーディネート自治体である富山県は、これまでの環境分科委員会の活動を取りまとめた「NEAR 環境分科委員会の 15 年の歩み（仮称）」の作成を検討していることを表明し、参加者に対し、作成への協力を要請した。参加者は、活動計画（案）を了承するとともに、「NEAR 環境分科委員会の 15 年の歩み（仮称）」の作成を歓迎した。